

「利きネプロスのお作法・プライヤ編」

観



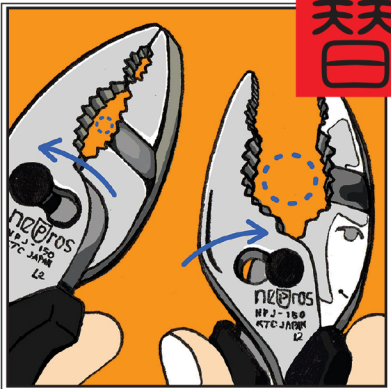
観察「みつめる」

磨かれた面刻まれた線もまたひとつひとつが 技の結晶

まるで鳥のくちばしのような豊かで美しいカーブ、表面のめつき、丁寧に刻まれた挟み部の歯。ひとつひとつの技をじっくり堪能ください。挟み部の大小のカーブに刻まれた歯のピッチの違いを観察しているうちに、一本一本の溝まで美しい…と惚れ惚れするでしょう。どこまで目を凝らしても耐えられる隙のなさには驚きです。

・計算されたデザインなのに愛嬌や自然美すら感じますね

替



切替「きりかえる」

カチカチと切り替えてみれば滑らかな動きにおどろく私の手鏡

プライヤの∞のような形の穴、黒い支点を右に左に切り替えればワンタッチで広くなったり狭くなったり。小さな物をつまむ様子は上品な小鳥のくちばしのような。大きな物をしっかりとつかむ様子は鷹が狩りをしているみたい。切り替えの滑らかさは、重なり合った部分も鏡のように磨き込まれているから。見えない所も手を抜かないのがネプロスのこだわりです。

・切り替えの滑らかさに口元の緩んだ顔が映り込むでしょう

鷹



安全「はさまない」

痛くない挟まないから気づかない実はこっそりお守りしてます

眺めて、握って、切り替えて、色々試して納得の使い心地。でも実はネプロスプライヤには、気づかないところにも秘密があります。グリップエンドで決して手を挟まない構造になっているのです。広口に切り替えて握ってみてください。うっかり「痛い！」があり得ない。気づかないけれど守られているのです。

・陰からそっと支えてくれる。そんな紳士な工具です

持



把持「つかむ」

指先の延長のような自在さにいつの間にもやら心もつかまれば

手のひらに優しくフィットする樹脂グリップの握りやすさを味わいながら、周囲のあれこれをつかんで、曲げて、引っぱって、伸ばして…。しっかりとした手応えで、まるで自分の手指のように使えます。何でもつかめるプライヤですが、実は一番しっかりとつかまれているのはあなたの心かもしれません。

・どこまでも一緒に行く相棒。そんな気にさせてくれますね

※危険なので真似しないでください。

